



錦林小学校

令和6年度10月

(アンケート結果)

NEWS LETTER

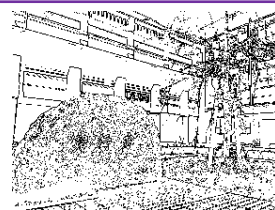
京都市立錦林小学校

606-8322 京都市左京区岡崎入江町1-1

TEL : 075-771-0921

FAX : 075-771-3622

E-mail : kinrin-s@edu.city.kyoto.jp



子どものためのアンケート（1回目）結果のお知らせ

保護者の皆様には、「子どものためのアンケート」（7月実施）にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様や児童へのアンケートの結果、いただいたご意見、教職員の振り返りをふまえ、継続する取組や改善していくべきところを全教職員で共有し、保護者・地域の皆様と共に今後の錦林小学校の教育活動に生かしていきたいと考えております。

それぞれの質問の項目について、児童・保護者・教職員の立場で回答できるようにしています。質問の文言は多少異なりますが、同じことがらについて、3者（児童・保護者・教職員）の意識におけるずれの有無がわかるようにするためです。

【アンケート結果】

質問項目	児童	保護者	教職員
子ども一人一人を大切にした教育を進めている	96	98	100
授業が分かりやすい（確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めている）	95	95	100
地域のことを調べたり、学習したりすることが好きである（地域の特色を生かした学びを進めている）	81	95	97
意欲的に学習に取り組んでいる	96	83	100
進んで本を読んでいる	77	60	97
宿題などの家庭学習に取り組んでいる	92	87	97
分からないこと、困ったことなどを相談しやすい	84	92	100
楽しく登校できている	93	95	100
進んであいさつできている	88	77	97
人を大切にしている	98	97	100
自分のよいところやがんばっていることが言える（よさやがんばりを認め褒めている）	78	89	100
生活のルールを守っている	95	87	100
時間を守って生活できている	91	76	93
「すべきこと」「してはいけないこと」についてしっかり考え、適切に判断できている	94	87	100
がんばることを見つけて努力・挑戦している （「なりたい自分」「将来の夢」の実現に向けて努力している）	93	65	97

※「よくできている」「だいたいできている」と肯定的に回答されている割合を「%」で表しています。

【アンケート結果の概要】

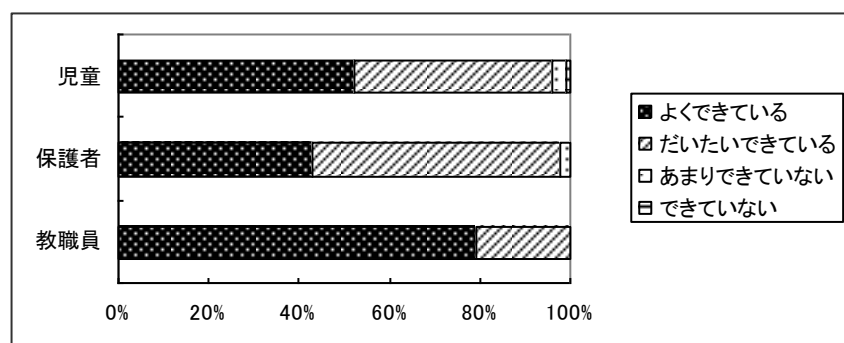
児童は学校で GIGA 端末を活用して、教職員・保護者は QR コードを読み取っていただき、アンケートを実施しました。保護者の方からは、児童数 531 名に対して 341 件の回答をいただきました。約 64% の回答率は、昨年と同様の結果でした。

アンケート結果の概要を見てみると、全体的に肯定的な回答の割合が高い傾向にありました。また、昨年度のアンケート（1 回目）と比べると、教職員の中で、「地域の特色を生かした学びを進める」ということについて、肯定的な回答が大幅に増加しています。また、児童・保護者の中で、「進んで本を読んでいる」ということについては、昨年度と同様に他項目と比べて肯定的な回答の割合が低い結果となりました。

アンケート結果全体の経年変化を見てみると、肯定的な回答の割合が、ここ数年高い傾向にあります。特に、肯定的な回答の中でも、児童の「よくできている」という項目については、今年度、増加傾向にありました。

今回のアンケート結果の中で、いくつかの質問項目を取り上げ、お知らせさせていただきます。そして、これまでの取組の成果と課題を見直し、児童がいきいきと活動し、力をつけていけるよう努めてまいります。今後とも、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

子ども一人一人を大切にした教育を進めているか



児童一人一人が、教職員や友達などあらゆる人間関係の中で大切にされていると実感できているかということについての質問です。

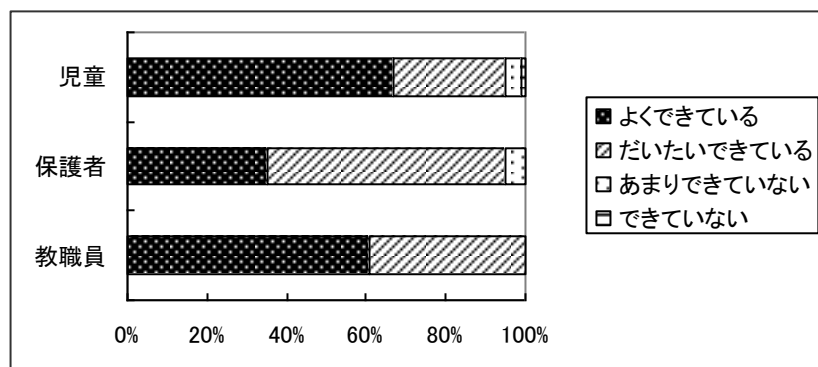
「よくできている」「だいたいできている」と肯定的に回答している割合が、児童 96%・保護者 98%・教職員 100%となりました。経年変化を見ても、一昨年、昨年同様に高い数値となっています。

また、肯定的な回答の中でも児童・保護者共に「よくできている」の割合が昨年に比べると少し増加しました。多くの児童にとって、学校が安心して生き生きと活動できる場であるということが分かります。

しかし、全体の割合から見ると少数であっても、「できていない」と感じている児童・保護者が存在しているということを重く受け止めなければいけません。今後も、日々の授業や休み時間など、学校生活の中のどの場面でも、一人一人がかけがえのない一人として誰からも尊重され、大切にされているという実感がもてるよう、また、一人一人に応じた適切な配慮や支援を充実させていけるよう学校全体で努めていきます。



授業が分かりやすい（確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めている）



児童には「じゅぎょうがわかりやすいか」、保護者には「学校は確かな学力をつけるための教育を進めているか」、教職員には「確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めているか」というように質問しています。児童の回答を見ると、肯定的に回答した児童が95%となりました。児童の肯定的な回答の内訳を見ると、「よくできている」67%、「だいたいできている」28%となっており、昨年度よりも「よくできている」の割合が少し増加しています。

錦林小学校では、主体性（自己調整力）と協働性（コミュニケーション力）の2つの資質能力が重点的に培われるように授業研究を進めています。そのため、毎日の授業では、めあての確認とふりかえりを充実させることを通して自身の学びを調整できるようにしたり、友達との意見交流を通して学びを深められるようにしたりしています。また、算数科では、授業後半に練習問題に取り組む時間をたくさん確保できるようにするなど、学校全体で組織的・継続的な授業改善に取り組んでいます。

今後も、教職員全体で研修や研究協議を進め、1時間1時間の授業の中で学びの質を高められるよう取組を充実させていきます。

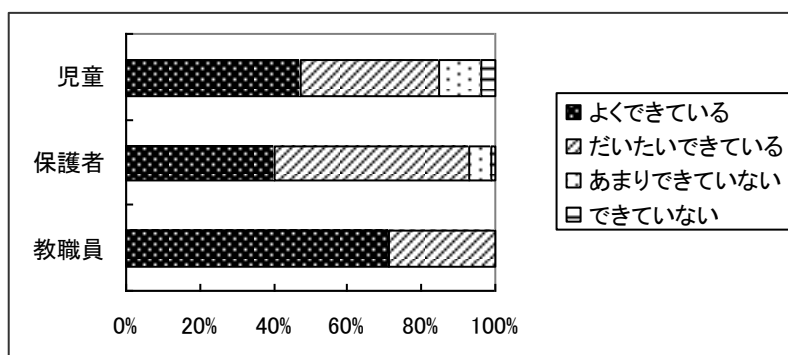


分からないことや困ったことなどを先生に相談しやすいか

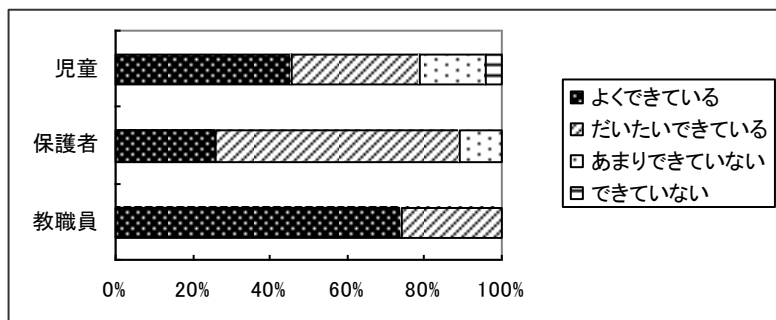
児童には「分からないことや困ったことなどを先生に相談しやすいか」、保護者には「学校は、相談や質問がしやすいか」、教職員には「子どもや保護者と会話・連絡等をする機会を積極的につくり、話を聴くようにしているか」というように質問しています。

児童は、84%が「相談しやすい」と肯定的に回答しています。一方で16%の児童が「相談しにくい」と感じているようです。

学校では児童の困りや不安を見逃さないよう、日常的に児童や集団の様子を観察しています。また、校内で実施するいくつかのアンケート調査に基づいた面談や相談を行うなどの取組をしています。いつもと違う児童の言葉や行動の背景には、困りや不安があるのかも知れないという認識のもと、児童が出しているサインを見逃すことなく、しっかり思いを受け止めたいものです。今後も、児童に関わる全ての大人が、これまで以上に丁寧な関わりができるよう努めていきます。



自分のよいところやがんばっていることが言える



自己肯定感に関する質問であり、本校の学校教育目標「人との関わり・つながりの中で自分を高める 実行力の育成」とも非常に関わりが深く、重要視している質問項目の一つです。

今回の結果では、78%の児童が「自分のよいところやがんばっていることが言える」と回答していました。他の質問項目と比べると少し低い結果となっていますが、ここ数年の経年変化を見てみると、「自分のよさ」や「自分らしさ」を認められる児童が増えてきています。毎年6年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査の結果でも、本校の児童は、全国や京都府の6年生と比べて、自己肯定感に関する項目で非常に高い傾向が見られました。

学校は、児童の「できた!」「わかった!」という思いを大切にしたり、がんばっている姿やがんばった過程を価値付けしたりすることを通して、児童が「やればできる」や「自分にはよいところがある」と実感できる機会を増やすことを目指しています。ご家庭でも、保護者の皆様がお子達のよさやがんばりを見取り、十分に認めていただけていることも増加に転じている一因と分析できます。

今後も継続してこのような取組を行い、一人一人が自信をもって様々なことにチャレンジしようとする心の強さにつなげていきたいです。



【保護者（ご意見・ご感想の記入欄）より】

学習に必要なものをもっと早く知らせてほしいです。

いつも子どもたちの学習の準備にご協力いただき、ありがとうございます。
図画工作科や生活科の学習などで特別に必要なものについては、2～3週間前におたより等で知らせるように心がけております。しかし、これまでも急にご用意いただく場合もありご迷惑をおかけしました。今後なるべく早くお伝えできるように努めます。

学習予定に訂正がある場合は「すぐーる」で配信してほしいです。

まずは、学習予定表に誤りがないように努めます。現段階では、各クラスのおたよりを「すぐーる」で配信することはしていませんが、今後「すぐーる」登録家庭数が一定数に達した段階で、検討していきます。

送迎等の車の駐停車が多く、子どもの登下校が危ないと感じる時がある。

子ども達の登校については、なるべく時間に余裕をもってお家を出られるようにお声かけをよろしくお願いいたします。やむを得ず送迎することになった場合でも、交通ルールやマナー、安全には十分に気を付けていただきたいと思います。また、特に狭い道では、児童が停車中の車をよけて登下校しなければならない場面も見かけられます。みんなが気持ちよく安全に過ごせるようにご協力をよろしくお願いいたします。



励みになるようなご意見・ご感想をたくさんいただいております。ありがとうございます。